

みんなの健康ラジオ

『腎がんの診断と治療』

(2022年3月24日放送)

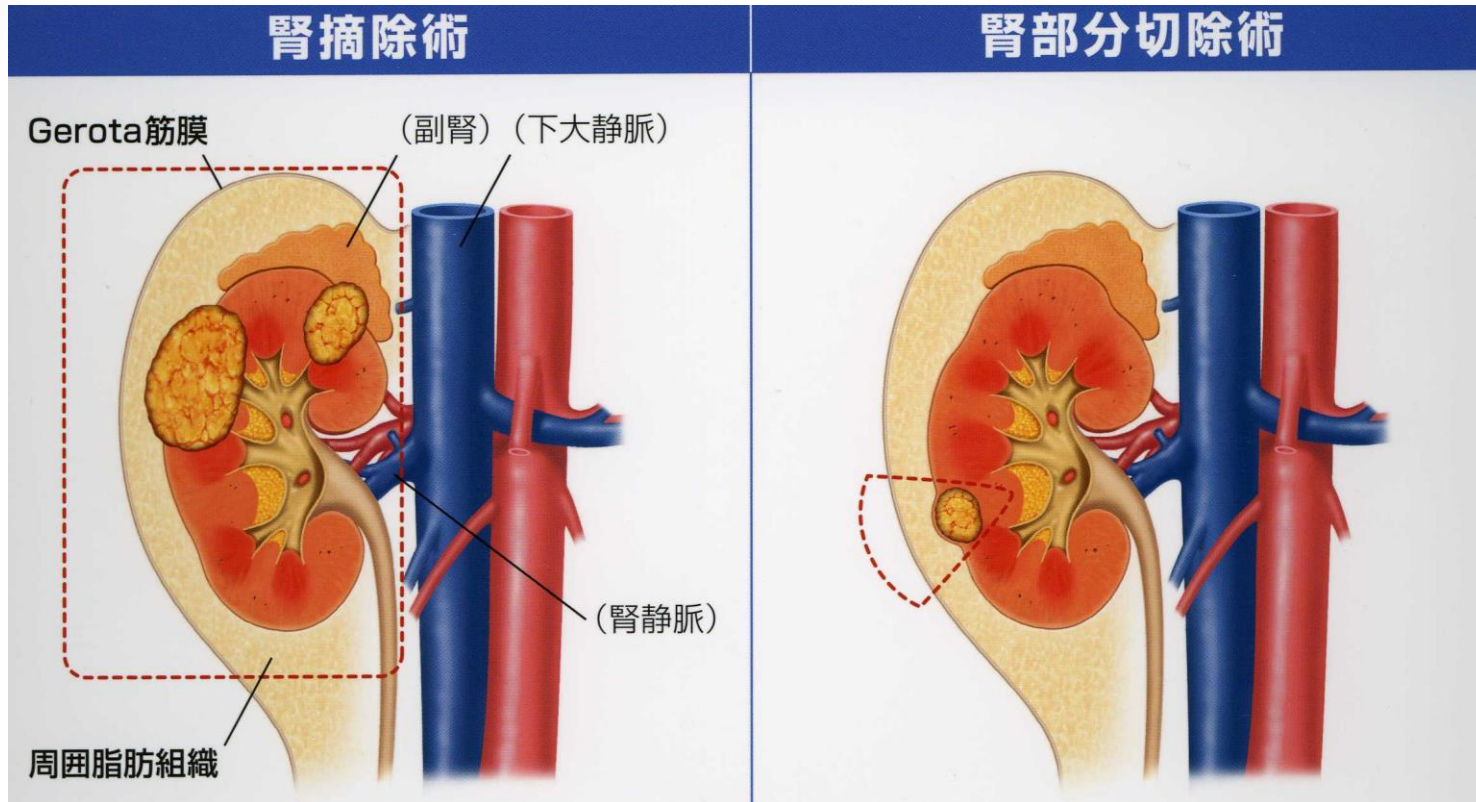
横浜市泌尿器科医会

聖隷福祉事業団聖隷横浜病院

波多野 孝史



腎細胞癌の手術方法

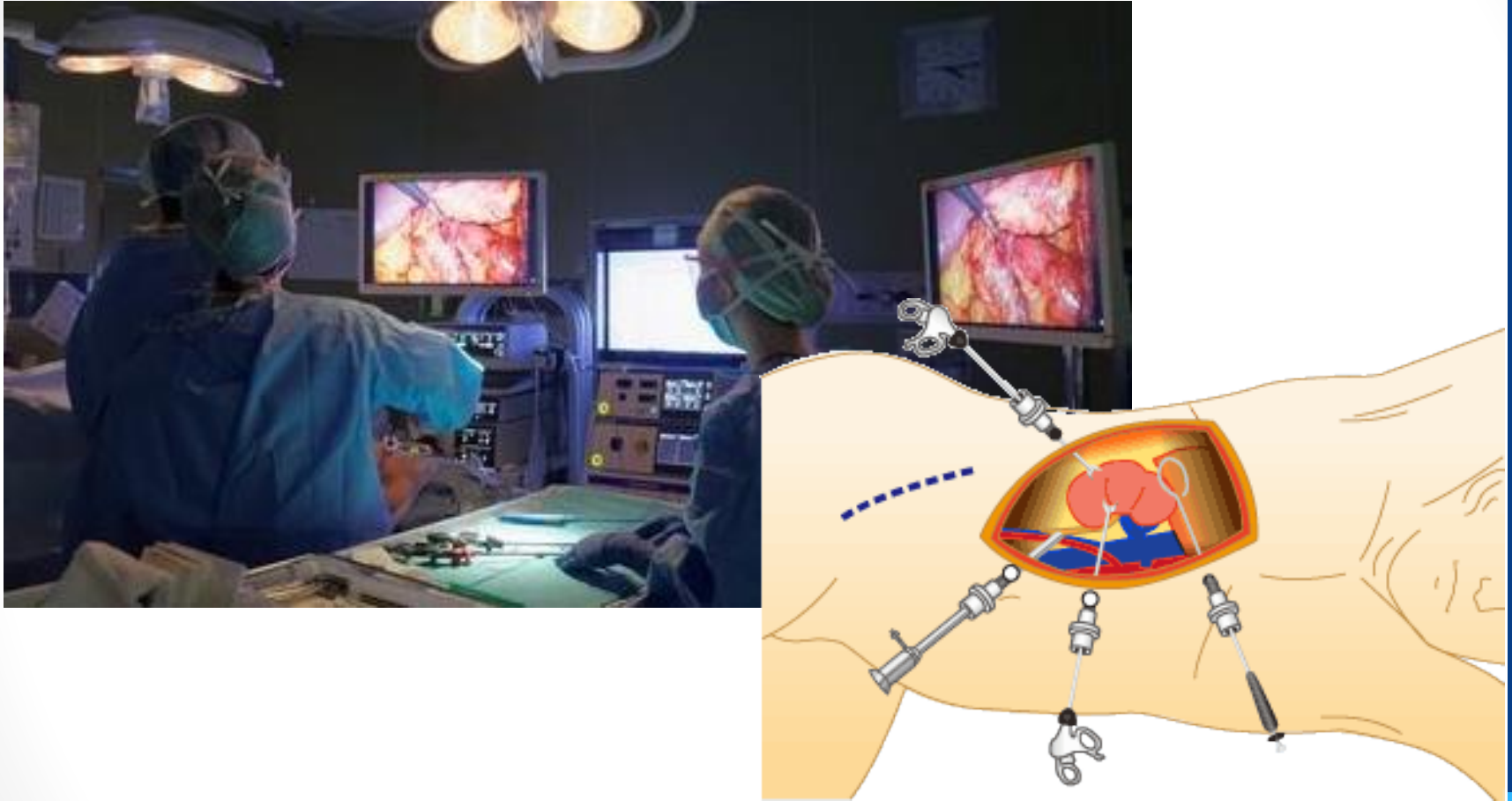


転移のない腎細胞癌に対しては、手術が第一選択となります。一般的に直径4cm以下の小さい癌に対しては、癌の部分だけ取り除く、部分切除術が行われます。

一方4cm以上の大きな癌に対しては、全摘除術が行われます。

Seirei Yokohama Hospital

腎細胞癌の手術アプローチ



近年、腎細胞癌の手術は内視鏡手術が主体です。
開腹手術は一部の症例に対して施行されます。

腎細胞癌に対するロボット支援手術



ダ・ビンチを用いたロボット支援手術も急速に普及しています。

横浜市内においても、いくつかの病院が腎細胞癌に対してダ・ビンチを用いたロボット支援手術を施行しています。

Seirei Yokohama Hospital

ロボット支援手術の特徴

- ① 完全な遠隔手術
医師は患者さんから離れた操縦席（サージャンコンソール）で手術を行います。
- ② ロボットアームの高度な間接機能
医師の手元の動きはそのままロボットアームの先端に伝わります。
- ③ 手ぶれ防止機能
繊細な操作時、医師の手が震えても、ロボットアームは震えず、確実に操作できます。
- ④ 三次元立体映像カメラ
これにより腹腔内を立体的に観察でき、手術の安全性が向上しました。

